

センターだより 第4号
令和3年6月5日

医療施設長 様

鹿児島市医師会臨床検査センター
センター長 上ノ町 仁

新規実施項目のお知らせ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、下記の検査項目におきまして、新規受託を開始しますのでご案内いたします。
ワクチン接種前後の免疫状態確認等にご活用ください。
今後とも引き続きお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。

記

■ 実施日 2021年6月7日(月) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

検査項目	検体量 (mL)	容器	保存	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
SARS-CoV-2 IgG S (スパイク)	血清 0.5	A 茶色	冷蔵	2~4 ※	なし	CLEIA	1.0未満 陰性(-) (AU/mL)	不 不活化(非動化)検体 では検査値に影響を 及ぼす場合があります ので避けてください。 SARS-CoV-2スパ イク(S)タンパク質 の受容体結合ドメイ ン(RBD)に対する IgGを測定する定量 検査です。

※株式会社エスアールエルへの外注項目となります。

● SARS-CoV-2 IgG S (スパイク)


スパイク蛋白質のRBDに対するIgG抗体を測定する定量検査です。

新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) は、スパイク (S)、エンベロープ (E)、メンブレン (M)、ヌクレオカプシド (N) の4種類の構造タンパク質で構成されています。コロナウイルスに特徴的な表面の突起を形成するSタンパク質には、ヒト細胞に感染する際に不可欠な受容体結合ドメイン (RBD) が存在しています。RBDが、ヒトの呼吸器や粘膜の上皮細胞表面に存在するアンジオテンシン変換酵素2型 (ACE2) 受容体と結合することで、ウイルスは宿主細胞に侵入します。

SARS-CoV-2ワクチンは、Sタンパク質特異的に免疫反応を誘発するよう設計されているものが多く、Sタンパク質に対する抗体検査は、ワクチン接種前の免疫状態の確認およびワクチン接種後の免疫応答の定量測定などの使用が期待されています。

本検査は、富士レピオ社の研究用試薬「SARS-CoV-2 S-IgG測定試薬 (IB)」を用い、検体中のSARS-CoV-2 Sタンパク質のRBDに対するIgG抗体を定量的に測定する検査であり、定量値と判定結果をご報告いたします。

▼検査要項

検査項目名	SARS-CoV-2 IgG S (スパイク)
検体量	血清 0.5 mL
容器	A 茶色
保存方法	冷蔵
所要日数	2~4 日
検査方法	CLEIA
基準値 (単位)	1.0未満 陰性 (-) (AU/mL)
報告範囲 (単位)	1.0未満、1.0~99900000 (AU/mL)
桁数	有効 3桁、整数 8桁、小数 1桁
検査実施料	なし
判断料	なし
備考	 不活化 (非働化) 検体では検査値に影響を及ぼす場合がありますので避けてください。SARS-CoV-2スパイク (S) タンパク質の受容体結合ドメイン (RBD) に対するIgGを測定する定量検査です。

●留意事項

- 1) 富士レピオ社の研究用試薬「SARS-CoV-2 S-IgG測定試薬 (IB)」を用いた研究検査項目です。
- 2) 研究検査項目のため、診断目的に使用することはできません。
- 3) ご施設様において、項目コードマスタの設定をお願いいたします。

● 項目コードマスタ情報

ご施設様において、項目マスタの設定をお願いいたします。
設定の方法につきましては、電子カルテメーカー様にご確認ください。

【項目コード】

4桁コード	7桁コード	センター項目名称	JLAC10
5768	2542300	SARS-CoV-2 IgG S(スパイク)	5F625143102305200
5769	2542301	定量値	5F625143102305201
5770	2542302	判定	5F625143102305211